

登壇者プロフィール（五十音順）

第1部 銀座通りの未来のデザインを考えよう

進行

出村 嘉史氏（岐阜大学社会システム経営学環 教授）

1975年生まれ／京都大学で博士（工学）を取得後、京都大学で助教を務め、岐阜大学工学部の准教授、令和3年より現職。景観工学、都市形成史が専門。古ビルを自らリノベーションしたまちなかの研究室「美殿町ラボ」を開設するなど現場に根ざした活動を行う。

安藤 晴美氏（NPO法人おさんぽや 代表理事）

我が子を育てながら子育て支援に携わり18年。子育てでサークル代表・お母さん業界新聞編集長・森のようちえんスタッフを経て、NPO法人おさんぽやを設立。安心して子どもを育てる仲間・環境を実践し、創り上げ続けている。

大野 暁彦氏（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 准教授）

1984年生まれ／千葉大学にて博士（農学）取得。登録ランドスケープアーキテクト。文化庁新進芸術家派遣制度にて渡蘭。中央大学理工学部助教を経て現職。高蔵寺駅、新那加駅、蘇原駅の駅前広場ほか様々な公共・民間の外部空間の設計を手掛ける。グッドデザイン賞、日本経済新聞社賞ほか受賞多数。

稀温氏（Kion Studio 代表／コーディネーター）

1967年生まれ／服飾専門学校時代から、衣装や商業施設の企画に携わる。流通と外食企業勤務を経て、1991年KionStudioとして独立。衣食住遊のデザイン&コーディネート傍ら、2002年にRマテリアル、2016年リテイルを創始。2020年 個人的な素材スタジオANNEX増設。地元尾州と国内外の素材を扱う。

渋川 誠氏（日本エコシステム株式会社 財務部長）

稲沢市出身の現在48歳／日本エコシステム株式会社にて、財務部長職を拝命。銀行出身の経験を活かし、財務戦略の立案や資金繰表の作成など、幅広い業務を担当。

富田 隆裕氏（一宮市銀座通商店街振興組合 理事長）

1970年一宮市生まれ53歳／既婚、子供一人／上智大学経済学部卒業後、東京都、大阪府、広島県の会社員生活を経て2002年に実家のホテル事業を引き継ぎ現在に至る。ホテル事業は35周年を迎える。／一宮市銀座通商店街理事長を16年以上務める。／一宮まちなか未来会議 理事に2021年就任。

西村 浩氏（株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役）

1967年佐賀市生まれ／1993年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。

第2部 まちなかの使いこなしを考えよう

進行

名畑 恵氏（錦二丁目エリアマネジメント株式会社 代表取締役／NPO法人まちの縁側育くみ隊 代表理事）

春日井市生まれ。全国各地の地域活動や公共事業等にファシリテーターとして携わる。名古屋錦二丁目地区では学生のころからまちづくりのサポートを行っており、2018年3月には地縁組織と共に錦二丁目エリアマネジメント株式会社を設立し、まちづくり拠点「喫茶/スペース七番」を営む。

石黒 太輝氏（c_thought coffee デザイナー）

一宮市出身の現在25歳／自家焙煎スペシャルティコーヒーショップ「c_thought coffee | シーソーコーヒー」のブランド全体のデザインや運営を行う。2024年初夏、一宮駅前銀座通りにオープンする「TORA CAFE by c_thought coffee」のカフェ店舗の企画運営やデザインも行う。

喜多 茂樹氏（株式会社エコ建築考房 代表取締役）

1978年京都生まれ46歳／（株）エコ建築考房代表取締役社長。一宮まちなか未来会議副代表。一宮環境基本計画等推進協議会委員。お客様の1割は同業者、社員の2割はお客様が働くというユニークな会社として2021年「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」審査委員会特別賞受賞。

星野 博氏（まちづくりNPO法人志民連いちのみや（都市再生推進法人）理事長／税理士）

「社の宮市」ほか市民イベントや、コミュニティカフェ「三八屋」・地ビール工房「一宮ブルワリー」等を企画運営。一宮市ウォークアブル事業「ストリートチャレンジ」事務局を担当。一宮市市民活動支援センター運営統括マネージャー。

出村 嘉史氏（岐阜大学社会システム経営学環 教授）

西村 浩氏（株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役）